

公益社団法人日本ビリヤード協会平成 26 年度事業計画

1 組織

公益移行に関して

2月 21 日、内閣府より諮問が終了したとの連絡をいただき、2月 28 日付で答申をいたしました。これにより 4 月 1 日より当会は公益社団法人日本ビリヤード協会としてスタートします。本 HP がアップされる 4 月 1 日、午前中に登記の電子申請をいたしました。

25 年度中には NBA 本部が日本体協に加盟する予定でしたが、公益移行の作業を優先いたしました。26 年度中に完了させたいと思います。

資格認定、指導員制度、審判員制度の明文化が必要となります。システムが稼働するまでに数年を要しますが、制度だけは明文化されている必要があります。現在スリックションの審判員制度があり公益申請の書類としても提出しました。スポーツ団体として必須の事業です。

2 普及事業

協会のアピールとしては適切な運動量と、頭を使うことによる認知症防止、コミュニケーション等があります。現在増えている高級高齢者施設では、入居者のニーズに応える姿勢をとっており、その中にビリヤードも入っているようでいくつかの問い合わせもありました。講師派遣依頼がくればできるだけ協力お願いします。公共の高齢者施設には全撞工の協力でテーブル貸与・贈呈を続けてゆきます。

若年層への普及も重要です。児童館などからオファーが来れば極力受けるようにして下さい。いずれも、一度二度はボランティアでも、度重なるようでしたら本部にご相談ください。多少の補助はできますが、基本は支部としてもやらなければならない事業です。協会所有のミニテーブルは、引っ越し便で送ることができますので、各地のイベントで使うことは可能です。

学校対抗・学生選手権

競技会ではありますが、学生層への普及のため、学校対抗選手権も継続します。かなりの事業支出を伴いますが絶対に続けてゆかなければならぬ大会といえます

26 年度より全日本学生選手権を開催します。フリーエントリーで既設会場を予定していますので、あまり経費はかかるない予定です。

3 選手強化

2017 年、中華台北で開催されるユニバーシアードにビリヤードがデモンストレーション種目として採用されました。ジュニアオリンピックカップ・学生選手権と連携を図りながら 2017 年に備えます。今後の国際大会は下記のとおりですが、ビリヤードの採用はユニバーシアード以外は決定していません。

2014 アジア大会 韓国

2017 アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ トルクメニスタン

2019 アジア大会 ベトナム・・・ビリヤードが盛んなので可能性はある

2017 東アジア大会 中止→発展的解消→2019 年アジアユースゲームズとなる

2017 ユニバーシアード 中華台北・・・デモンストレーション競技として採用

2017 ワールドゲームズ ポーランド・・・4 回連続で採用されているので可能性大

4 ジュニア

ここ数年日本のジュニアクラスは層・レベルと共にかなり充実していましたが、その充実したメンバーが徐々にジュニアを卒業し、世代交代を迎えています。このクラスは常に新メンバーが登場していないといけないのですが、全国的に選手層が薄くなっているのが現状です。タレント発掘も協会の重要な仕事であり、また、ジュニアの充実はそのまま普及にもつながります。またジュニア・学生層への普及は体協加盟や地区教育委員会とのつながりが有効な手段であり、組織の発展ともつながりをもってきます。

5 国体記念大会

国体は平成 28 年岩手まで参加が決定しています。

和歌山国体記念大会は特設会場で、第 2 回大会以来のポケット・キャロム同会場開催となります。

6 大会開催・・・トーナメントスケジュールによる。

7 大会派遣・・・例年通り世界選手権に代表を派遣。

8 各種委員会

アンチ・ドーピング委員会

実際に検査対象となるトップ選手の属する JPBA と JPBF、そして NBA 本部で構成した委

員会で活動しています。今年度は3大会で8検体の検査を予定しています。それにともなうTOTOの助成は申請済みです。

CS委員会

実際に回転しているシステムにつき、今までには急激に大きく変更することは不可能でしたが、現状は過去最低ラインであり、一新するべき時期がきています。

助成金審査委員会・選手選考委員会

必要に応じ開催します。本年和歌山県ビリヤード協会に15万円の助成をする予定です。

協力金委員会

ほぼ正常に回転しています。システム自体は問題ありません。

ルールブック委員会

ルールブック完成後ほぼ解散状態でしたが、ポケット・キャロム・スヌーカーとも経年による見直しをします。委員会を再度立ち上げるかどうかは未定です。実情に応じて変更という形をとるかもしれません。

普及指導委員会

普及指導委員会を設置しました。当面は2017年ユニバーシアードと関連をつけ高校を中心に、学校・児童館・高齢者施設にビリヤードを紹介する活動をします。

9 震災募金について

震災後3年が経過したため、事業計画の筆頭からははずしますが、メンテナンス費用がかからないので、期限を区切らず続けます。